



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL <https://www.shikibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尻家 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部門長 (氏名) 伊丹 秀典 (TEL) 06-6268-5421  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,351	4.6	561	△3.2	551	△6.0	401	△47.8
2023年3月期第2四半期	18,500	8.0	580	△11.9	586	28.0	767	89.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 850百万円(△26.5%) 2023年3月期第2四半期 1,157百万円(98.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	34.60	—
2023年3月期第2四半期	66.25	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	83,022	33,622	40.5
2023年3月期	82,043	33,357	40.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,598百万円 2023年3月期 33,337百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	39,000	2.9	1,300	6.7	1,100	△2.3	800	△49.0
								69.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	11,810,829株	2023年3月期	11,810,829株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	219,296株	2023年3月期	218,908株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	11,591,731株	2023年3月期2Q	11,587,644株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、株式報酬制度 (役員向け株式給付信託) を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算に関する説明動画 (録画) の配信を予定しております。決算説明会資料についても、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. 参考情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となる等、社会経済活動の正常化に伴って個人消費が持ち直し、加えてインバウンド需要が増加したこと等により、緩やかな回復を見せました。一方、世界的な金融引き締めに伴う為替の変動や、原材料及びエネルギー価格の上昇に伴う物価上昇等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画「ACTION22-24」において、コロナ禍からの復活を目指すこと、長期ビジョンの実現に向けた成長のレベルをさらに加速させることとし、2年目となる本年度においても新たに創ること、新たに取り組むことに挑戦しております。売上高については、市況回復等に伴って前年同期比増収となりましたが、製造コスト上昇の継続及び価格転嫁の遅れが影響し、利益面では苦戦することとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は193億51百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は5億61百万円（同3.2%減）、経常利益は5億51百万円（同6.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1百万円（同47.8%減）となりました。

#### (繊維セグメント)

繊維セグメントにおいては、市況は回復傾向が続くものの、円安の進行、製造コスト上昇の継続に加え、価格転嫁の遅れが利益を圧迫いたしました。

原糸販売事業は、中国・欧米市場の市況落ち込みの影響により、アセアン地域における綿糸の市況低調が継続したため、非常に苦戦いたしました。

輸出衣料事業は、円安及び中東市場の好況を背景に、中東民族衣装用生地販売は好調に推移いたしました。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売において増収となりましたが、原材料等の価格高騰に加え、円安の影響により調達価格の上昇は続き、価格転嫁が追い付かず、利益を押し下げました。

ニット製品事業は、価格転嫁が進み、加えて輸送費削減施策が寄与したことにより、好調に推移いたしました。

生活資材事業は、リビング分野においては顧客の在庫調整により市況が振るわず、低調に推移いたしました。リネン資材分野は、価格転嫁及び新規顧客の獲得により、堅調に推移いたしました。また、メディカル分野では、「フルテクト®マスク」の需要減少に加え、悪臭を良い香りに変える臭気対策剤「デオマジック®」については、産業用途向けを中心に営業活動をしておりますが、苦戦いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は100億28百万円（前年同期比5.3%増）となり、営業損失は2億71百万円（前年同期は3億62百万円の営業損失）となりました。

#### (産業材セグメント)

産業資材部門では、ドライヤーカンバス事業は、日本国内では、設備改造用カンバスの需要や堅調なコルゲーターベルト販売により増収となりましたが、中国国内では、発注サイクルや景気低迷等の影響により減収となり、製造コストの上昇が利益を圧迫いたしました。フィルタークロス事業は、民需・官需ともに堅調に推移したほか、新規顧客向けの販売により増収となりましたが、製造コストの上昇により苦戦いたしました。また、空気清浄機分野においては、機器販売・保守点検ともに順調に推移しましたが、前年度のような海外向け大口機器の単発受注がなかったため、減収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は中国向けの化学品需要が顧客の在庫調整の影響により、受注減となりましたが、食品用途の増粘多糖類等が好調に推移した結果、全体では増収となったものの、原材料価格の高騰等による製造コストの上昇が利益を押し下げました。複合材料事業は、航空機用途向け部品については引き続き回復基調にあり、増収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は66億43百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は2億1百万円（同31.7%減）となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移しましたが、改修工事等により、若干利益を圧迫いたしました。物流事業は市況の回復を受けて、堅調に推移いたしました。リネンサプライ事業はインバウンド需要の回復が進み、取引先のホテル

が高稼働したことを受け、大幅な増収となり、利益に大きく貢献いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は29億82百万円(前年同期比0.2%減)となり、営業利益は10億25百万円(同2.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は830億22百万円となり、前年度末に比べ9億78百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産が減少したものの、有形固定資産に含まれる建設仮勘定の増加によるものであります。

負債は、493億99百万円となり、前年度末に比べ7億13百万円の増加となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備未払金、未払消費税等の増加によるものであります。

純資産は、336億22百万円となり、前年度末に比べ2億65百万円の増加となりました。これは主に、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金、為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.1ポイント減少し、40.5%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動では22億36百万円の増加、投資活動では12億84百万円の減少、財務活動では6億12百万円の減少となりました。

結果、資金は3億86百万円の増加(前年同期は85百万円の増加)となり、四半期末残高は53億8百万円(前年同期は50億94百万円)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等内部留保等により、22億36百万円の増加(前年同期は5億40百万円の増加)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出等により、12億84百万円の減少(前年同期は5億73百万円の減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金は、配当金支払等により、6億12百万円の減少(前年同期は7百万円の増加)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月28日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,996	5,383
受取手形及び売掛金	7,101	7,151
電子記録債権	1,938	1,791
商品及び製品	5,911	5,864
仕掛品	1,926	1,873
原材料及び貯蔵品	1,843	1,688
未収還付法人税等	177	-
その他	861	861
貸倒引当金	△21	△11
流動資産合計	24,738	24,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,179	45,803
減価償却累計額及び減損損失累計額	△33,666	△34,243
建物及び構築物（純額）	11,512	11,559
機械装置及び運搬具	27,420	27,775
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,369	△25,539
機械装置及び運搬具（純額）	2,050	2,236
工具、器具及び備品	1,647	1,640
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,513	△1,503
工具、器具及び備品（純額）	133	137
土地	38,270	38,282
リース資産	1,886	2,045
減価償却累計額	△1,089	△1,148
リース資産（純額）	797	896
建設仮勘定	492	1,102
有形固定資産合計	53,256	54,214
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	889	1,034
長期貸付金	-	200
繰延税金資産	2,195	2,008
その他	505	485
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	3,539	3,676
固定資産合計	57,305	58,418
資産合計	82,043	83,022

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,222	3,253
電子記録債務	974	984
短期借入金	9,257	9,125
1年内償還予定の社債	1,110	2,080
未払費用	553	508
未払法人税等	73	165
未払消費税等	-	209
賞与引当金	584	605
火災損失引当金	36	-
その他	1,296	1,582
流動負債合計	17,109	18,514
固定負債		
社債	2,690	1,870
長期借入金	11,021	11,093
リース債務	688	809
繰延税金負債	179	184
再評価に係る繰延税金負債	6,216	6,216
退職給付に係る負債	6,266	6,176
役員退職慰労引当金	54	55
修繕引当金	81	93
長期預り敷金保証金	4,145	4,143
その他	233	242
固定負債合計	31,576	30,884
負債合計	48,686	49,399
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	896	896
利益剰余金	9,155	8,971
自己株式	△241	△241
株主資本合計	21,146	20,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	303
繰延ヘッジ損益	△15	44
土地再評価差額金	13,238	13,238
為替換算調整勘定	△1,040	△831
退職給付に係る調整累計額	△171	△118
その他の包括利益累計額合計	12,191	12,636
非支配株主持分	19	24
純資産合計	33,357	33,622
負債純資産合計	82,043	83,022

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	18,500	19,351
売上原価	15,204	15,988
売上総利益	3,296	3,363
販売費及び一般管理費	2,716	2,801
営業利益	580	561
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	15	13
受取保険金	-	18
為替差益	106	56
補助金収入	24	24
雑収入	38	44
営業外収益合計	187	162
営業外費用		
支払利息	106	109
雑支出	74	63
営業外費用合計	180	172
経常利益	586	551
特別利益		
受取保険金	560	128
その他	0	7
特別利益合計	561	136
特別損失		
投資有価証券評価損	-	29
固定資産除却損	1	14
災害損失	27	5
火災損失	92	-
その他	3	0
特別損失合計	125	49
税金等調整前四半期純利益	1,022	638
法人税、住民税及び事業税	206	126
法人税等調整額	41	109
法人税等合計	247	235
四半期純利益	775	402
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	767	401



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	775	402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	122
繰延ヘッジ損益	60	60
為替換算調整勘定	301	211
退職給付に係る調整額	30	53
その他の包括利益合計	381	448
四半期包括利益	1,157	850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,147	845
非支配株主に係る四半期包括利益	9	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,022	638
減価償却費	890	899
長期前払費用償却額	12	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	△188
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11	1
修繕引当金の増減額 (△は減少)	6	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	20
受取利息及び受取配当金	△17	△18
支払利息	106	109
為替差損益 (△は益)	△30	△23
受取保険金	△560	△128
火災損失	92	-
災害損失	27	5
固定資産処分損益 (△は益)	1	14
固定資産売却損益 (△は益)	3	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	29
売上債権の増減額 (△は増加)	125	139
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△512	384
仕入債務の増減額 (△は減少)	59	△51
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	△362	227
その他	△291	70
小計	568	2,146
利息及び配当金の受取額	5	18
利息の支払額	△106	△108
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△336	104
保険金の受取額	560	191
火災損失の支払額	△146	△114
災害損失の支払額	△3	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	540	2,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△509	△1,034
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△35	△3
投資有価証券の売却による収入	29	1
貸付けによる支出	-	△200
定期預金の払戻による収入	36	36
定期預金の預入による支出	△36	△35
その他	△59	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573	△1,284

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,088	△54
長期借入れによる収入	1,700	2,140
長期借入金の返済による支出	△2,109	△2,153
社債の発行による収入	588	784
社債の償還による支出	△700	△650
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△462	△580
その他	△98	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	7	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	111	46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85	386
現金及び現金同等物の期首残高	5,008	4,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,094	5,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,518	6,291	2,690	18,500	—	18,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	297	301	△301	—
計	9,522	6,291	2,988	18,802	△301	18,500
セグメント利益又は損失(△)	△362	295	1,000	933	△353	580

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△353百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,023	6,643	2,684	19,351	—	19,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	297	301	△301	—
計	10,028	6,643	2,982	19,653	△301	19,351
セグメント利益又は損失(△)	△271	201	1,025	955	△394	561

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△394百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 参考情報

2024年3月期の連結業績予想

(2024年3月期)

(単位：百万円)

	報告セグメント			消去及び全社	合計
	繊維	産業材	不動産・サービス		
売上高	20,300	13,400	5,900	△600	39,000
営業利益	△300	450	1,950	△800	1,300
経常利益					1,100
親会社株主に 帰属する 当期純利益					800